

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名		HIYOKO REHABたけくま 放課後等デイサービス				公表日	令和8年4月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	利用児童に提供する療育内容によって部屋を使い分ける場合もあります。クールダウンや相談なども個別で対応できる空間があります。	全体で集まる場合に、人数が集約しており、スペースが狭くなる時があり配慮しながら対応しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員配置には安全で危険がないように必ず目が行き届くように配置しております。	個室対応の場合にもしもパニックなどが起きた際には直ぐに対応できるように連絡体制を強化します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		視覚的に提示して利用児童が利用しやすい空間に環境設定しています。バリアフリーに対応して車いすの方でも利用できる環境です。	玄関に一段低い段差があります。車いすでご利用の場合は一段ステップを付ける必要があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃と消毒を行い清潔に気をつけています。お子様が落ち着いて過ごせる空間作りに努めています。	個室が多い空間もありますので安全確保に気をつけていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		利用児童の集中力をつくるための環境や、着替えや、クールダウンなど必要に応じて指導員と一緒に対応できる空間になっています。	個室対応の場合は死角に十分注意して安全確保に努めて参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		モニタリングやケース会を定期的に開催して、職員が積極的に参加できるように担当も振り分けしながら職員全員で参画しています。	時間の確保と職員間での共有に努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		定期的な面談で意向を把握して、職員間で共有して業務改善につなげるよう努力しています。	意向を取り入れて保護者様と利用児童の満足度を上げていけるようにいたします。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に1回職員会議を取り入れて、支援の振り返りや意見を交換する機会を設けております。また、急を必要とする内容や、伝達は適直行っております。	職員が抱え込まないように事例検討会を取り入れて話し合える環境作りを積極的に開催します。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内等で研修、外部研修を受ける機会があり、職員の資質の向上を目指して研修を受けております。	外部研修を受けた職員が、所内で伝達研修できる機会を設けて習得したスキルを職員へ共有する時間を設けます。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式ホームページで公表し、支援内容を明確に提示して開示しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		課題分析ツールや効果測定シートなど結果が客観的にわかりやすいツールを作成しております。	効果が通知やグラフで把握できるように資料を作成中です。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員間で会議を開催し、意見を取り入れて計画を作成しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画を把握しやすいように提示して、支援を再確認できるように振り返りや気付きを促せるようなシートを作成して共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		専門的なアセスメントシートと個別支援計画のアセスメントシートを活用して計画を作っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		利用児童に必要な項目を適切に設定して具体的な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員一人一人の提案をもとにチームで検討して実行できる環境です。	職員間で提供する支援内容が重ならないように違いを求めながら楽しみながら学ぶ内容に心がけております。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		週末のイベントや社会体験などを取り入れて、普段の療育を活かすための体験型の活動を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別で伸ばす視点と、集団に必要なスキルを考えながら組み合わせで計画を作成して支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前に一日の活動案を共有し役割を認識して、共通認識を持ちながら支援しています。	お休みの職員への申し送りや伝達を業務日報を作成して伝達していますが、支援に入ってしまう場合は見落とすなど伝達不足があるため気をつけています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		振り返りを行い、気付いた点等を共有しています。	送迎が遅くなった時に、急を要する事例以外に対して翌日の申し送りになる場合があります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		利用児童すべてに記録を残し、職員間で共通認識して、検証したのちに改善できるように行っております。	簡潔にならないように具体的に記録を取るよう心がけていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		必要な時点で定期的にモニタリングと見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		自立支援と日常生活の為の活動・創作活動・余暇の提供を組み合わせで行っております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		グループワークやディスカッションを行い、自己選択、自己決定できる力を促し、共感する力も育てています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		下校時に伝達を賜り、職員間や保護者様へ共有しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者様から丁寧に伝達を受けております。課題に対して話し合いながら進め、共通理解に努めています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		近隣の同グループ内の事業所で開催されるペアレントトレーニングに参加して、職員も同席のもと支援を提供しております。	当施設でも家族等の参加できるペアレントトレーニングの機会が開催できるように検討していきます。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧な説明に心掛け、事業所内でもいつでも見ていただけるように設置しています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		利用児童や保護者様のご意見を定期的な面談や適宜聞き取りを行い最善の利益に努めています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		丁寧に説明し、同意を得ております。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		適宜、相談に応じ、必要な助言ができるように心がけております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		親子会を開催し、保護者様への伝達事項も伝えながら、ご兄弟でいらしたお子様に対して一緒に体験できる内容で開催しております。	年4回以上に回数を増やして定期的に行います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		体制の周知と、苦情があった場合の対応は、迅速かつ適切に対応するよう心得ております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		ブログやシステムで情報発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取扱いに留意しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子様の特性に応じた伝達の手法で意思疎通を図っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	地域を知るためのお散歩やお買い物練習を都度活動に取り入れています。	お散歩などで地域の人との交流を持っていますが、会を開催などは行っていませんので検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルの策定を行っております。親子会などで周知を行い、訓練も定期的に行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画（BCP）策定しております。訓練や備えも災害時を想定して行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		確認しております。もしもの場合の対応も保護者様と連携を取っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対応しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理に努めております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全確保に関してご家族等への周知と連携に努めております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		作成と共有、再発防止に向けた方策について検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待を防止するために職員の研修機会を開催して適切な支援に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束が必要な場合の要件を定めて、組織的に決定し、保護者様の理解を得ることを心得ております。		